

科 目 名
地域・都市計画 Regional & Urban Planning

3年 前期 2単位 選択

横 堀 肇

【科目区分】

学士課程共通の学習効果との対応：1-(1), 1-(2), 2-(1), 2-(5), 3-(2), 3-(4), 4
建築学科教育カリキュラムとの対応：

学習・教育目標	JABEE基準1の(1)の知識・能力	コース名	必修／選択の別	授業時間
C	—	建築総合コース	選択	22.5時間
	C 1	建築計画コース	必修	
	—	建築構造コース	選択	

【概 要】

ある具体的地区を取り上げて、その街の成立過程を観察する。その上で都市計画・街づくりの制度へと一般化をおこなう。また区画整理などをはじめとした、街の造りの仕組みを学んでいく。そうした一定程度の知識を得たうえで、中間レポートとして自分の育った街を観察させる。都市問題を実感し、改善のための制度の意義と背景を理解する。一部、欧米やアジアとの比較のなかで、日本の都市への理解を深める。

【到達度目標】

- (1) 都市の発展を理解する
- (2) 街の成り立ちの事例を知る
- (3) 埋め立ての背景を理解する
- (4) 街の歴史を理解する
- (5) 区画整理を理解する
- (6) 公園計画を理解する
- (7) 道路のネットワークを理解する
- (8) 都市防災の意義を理解する

【授業計画】

テーマ	内 容
① 都市の実態	スプロール、都市計画街路などを学ぶ。
② 都市計画	都市計画の職能、市街化区域・市街化調整区域などを学ぶ。
③ 環境整備	区画整理、木造密集地区整備事業などを学ぶ。
④ 諸外国の事例	オランダ、イギリス、デンマークなどの都市の事例を見る。
⑤ 道路	道路の役割と、そのヒエラルヒーを学ぶ。
⑥ 土地利用	都市計画の基本として、土地利用、容積率、都市施設などを学ぶ。
⑦ ①～⑥の総括	①～⑥のまとめとして中間レポートの発表を行う。
⑧ 市街地整備	新住宅市街地開発事業、区画整理による宅地供給手法を学ぶ。
⑨ 田園都市	ハワードの「明日の田園都市」などを学ぶ。
⑩ 衛星都市	新都市のパターンとして、衛星都市、拡大都市などを学ぶ。
⑪ 近代建築	コルビュジェを代表とする近代建築・近代都市を学ぶ。
⑫ 摩天楼	エンパイヤーステートビルなどのニューヨークの都市を学ぶ。
⑬ 近隣住区	住宅地計画のあり方として、近隣住区理論を学ぶ。
⑭ ケビンリンチ	都市構造の分析として「都市のイメージ」を学ぶ。
⑮ ⑧～⑮の総括	⑧～⑮までをまとめ、学生自身による自己評価をおこなう。

【授業方法】

前半はパワーポイントで説明し、後半はプリントに準じて解説していく。必要に応じてビデオで、事業の実施事例を紹介する。

【学習到達度の評価】

- 1) 授業中にも適宜質問をして、学生の理解度を確認する。
- 2) 自分の育った地区を都市計画的に見直す中間レポートを与え発表させる。
- 3) 中間レポートは祭典を行い、その理解度を確認する。
- 4) 定期試験後に講評を行う。

【評価方法】

- 1) 定期試験（60点）および中間レポート（40点）により評価とする。合計点が60点に満たない場合は、再試験を実施する。また、定期試験時には学生自身による自己評価を行う。
- 2) 全授業終了後に学生自身による自己評価を行う。

【関連科目】

- 1年：建築計画Ⅱ
3年：建築設計Ⅱ

【参 考 書】

「まちづくりがわかる本」（浦安の街づくり）彰国社
「都市計画」共立出版株式会社

【履修上の注意】

街へ出たときに常に街並みの状況に気を配る。同時に人の流れ（動線）を注意して観察すること。その観察と講義の中での解説と重ね合わせ、理解を深めること。

【オフィスアワー】

適宜、昼休み（12:00～1:00）に研究室にて講義内容に関する質問を受付ける。